正しく表示されない場合は、ブラウザで表示させてください。

ICRC

赤十字国際委員会 ニュースレター

8月号 2023



全国的に続く暑い日々。この月、多くの人があらためて平和に思いを馳せ、平和な日常が続くことへの熱い願いを胸に抱いたのではないでしょうか。広島、長崎への原爆投下、そして終戦から78年。また、私たちICRCにとって重要な、戦時の決まりごとを定めたジュネーヴ諸条約成立74周年や、８月19日の世界人道デーなど、国内のみならず、世界中が過去、そして現在の「戦争」について思いを巡らせました。そこで、今月のニュースレターは「戦争と平和」をテーマに特集を組みました。

【目次】

戦争と平和特集

・ICRCのコンテンツを見て考えよう

紛争の現場から

・ニジェール：１カ月で、13万人以上に支援を提供

・ミャンマー：自由の身となった人たちを家族のもとへ

・モルドバ：不安を分かち、未来への希望を共有する子どもたち

日本人に知ってもらいたい

・「相手に寄り添った国際活動を…」日本の "ナイチンゲール" 高原さん

駐日代表部だより

・「世界のどこかで苦しむ人々のために、みんなで立ち向かう」日本での仕事



“The Story of an Idea”

赤十字の誕生についてコミックで紹介。世界的に有名なフランスのマンガ家、ジャン・ジロー氏が手がけました。ICRCの創設者アンリー・デュナンの着想から世界規模に広がっていった赤十字の歩みが描かれています。

コミックで読む赤十字誕生物語

CGアニメはこちら



アンリー・デュナンの想いを紡いで160年

赤十字誕生のきっかけともなった、1859年のイタリア・ソルフェリーノの戦いから現在に至るまで、その足跡を年表でご覧いただけます。

思いは一つ：戦場で傷ついた人を敵味方の区別なく救う

国際人道法について知ろう

戦争にもルールがあることを知っていますか？こちらのアニメで国際人道法をわかりやすく解説しています。



ジュネーヴ諸条約(３分20秒)



戦時の決まりごと(30秒)



核兵器のない世界の実現に向けて

広島、長崎へ原爆が投下されてから今年で78年。核の脅威はこの世からなくなっていません。核兵器使用による惨状を現場で目の当たりにしたICRCはこれまで、被ばく者の声を伝え、核兵器の非人道性を訴え続けてきました。私たちの想いを、ICRCユース代表の高垣慶太さんが先祖から受け継いだ使命感にのせて、いろいろなところで語ってくれています。

世界に拡散した動画（上部）とともに、高垣さんの記事も本部HPで公開



今年５月８日の世界赤十字デーに、ジョルディ・ライクICRC駐日代表（当時）が広島を訪問。原爆投下直後に赤十字病院で救護にあたった上野照子さんと対談しました。

「看護師として傷病者の手当てをすることが自分が国にできること」



ニジェール：
１カ月間で、13万人以上に支援を提供

武力紛争をはじめとした暴力の横行により、５人に１人が人道支援を必要としています。
急激な物価高騰も人々の生活に追い打ちをかけています。

ニジェールの現状とICRCの活動



ミャンマー：
自由の身となった人たちを家族のもとへ

家族との再会／新しい章の始まり



モルドバ：
不安を分かち、未来への希望を共有する子どもたち

地元の子どもたちに加えて、紛争下のウクライナから避難してきた子どもたちを対象に心のケアを実施。心の声を絵と手紙に託して、みんなと共有します。

セッションを通して未来を夢みる子どもたち

日本人に知ってもらいたい！



「相手に寄り添った国際活動を...」日本の"ナイチンゲール"高原さん

これまで11カ国17回の国際救援活動に参加し、今年「フローレンス・ナイチンゲール記章」を受章した、高原美貴さんにお話を伺いました。

ミッションを通して、相手に寄り添い続けた看護活動

駐日代表部だより



「世界のどこかで苦しむ人々のために、みんなで立ち向かう」日本での仕事

【今、たくさんの方に読まれています！】今年の３月から７月まで、ICRC駐日代表部で広報インターンとして勤務した志水さん。応募のきっかけや担当業務の内容、最も印象に残っていることなど、体験談を寄せてくれました。

その他のニュースはこちら

E-newsletter のアーカイブはこちら

© 2023 INTERNATIONAL COMMITTEE OF THE RED CROSS

配信停止をご希望の方は、お手数ですがこちらよりお手続きください。
ICRC駐日代表部のプライバシーポリシーはこちらでご確認できます。

INTUIT mailchimp